

鬼怒中だより



第6号

令和8年1月13日（火） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条～自ら判断し、実行し、責任を持とう～

冬休み明け集会の代わりに、校長室からミートを使い、生徒の皆さんにお話ししま

した。今回は、「干支」についてのお話でした。

1 十二支（じゅうにし）

子（ね）→丑（うし）→寅（とら）→
卯（う）→辰（たつ）→巳（み）→
午（うま）→未（ひつじ）→申（さる）→
酉（とり）→戌（いぬ）→亥（い）



3 「干支（えと）」は十二支と十干の組み合わせですから、
12と10の最小公倍数の60通りです。



5 今年（2026年、令和8年）
の干支（えと）は、
「丙午（ひのえうま）」です。

「丙午（ひのえうま）」は、
結構有名な干支（えと）です。

7 2年生
・2011（平成23）年生まれの人は
辛卯（かのとう）

・2012（平成24）年生まれの人は
壬辰（みづのえたつ）

2 十干（じっかん）

甲（こう／きのえ）、乙（おつ／きのと）、
丙（へい／ひのえ）、丁（てい／ひのと）、
戊（ぼ／つちのえ）、己（き／つちのと）、
庚（こう／かのえ）、辛（しん／かのと）、
壬（じん／みずのえ）、癸（き／みずのと）

4 昔は「数え年」と言って、生まれるとすぐ1歳と数えたので、数え61歳の年、
すなわち満60歳になる年が生まれた年と同じ干支（えと）になります。暦が元に
戻ったと言って、「還暦」と言います。



3年生

- ・2010（平成22）年生まれの人は
庚寅（かのえとう）
- ・2011（平成23）年生まれの人は
辛卯（かのとう）

8 1年生

- ・2012（平成24）年生まれの人は
壬辰（みづのえたつ）
- ・2013（平成25）年生まれの人は
癸巳（みづのとみ）

9

干支（えと）は、あまりなじみがないかもしませんが、歴史で学習する
壬申の乱（じんしんのらん・672年）は
「**壬申（みづのえさる）**」の年に起きたもの、
戊辰戦争（ぼしんせんそう・1868年）は
「**戊辰（つちのえたつ）**」の年に起きたものです。

10

高校野球で有名な「甲子園球場」は、
「甲子（きのえね）」の年（1924年・大正13年）に建てられたので、そう名付けられました。

11

このように、**十二支（じゅうにし）**
と十干（じっかん）を組み合わせた
干支（えと）は様々な場面で使われて
います。最近では「今年の干支は何？」とい
うように、十二支のことを指す場合も
あるようです。

今回の「干支」のお話は少し難しかったかもしれません、自分は何年（なにどし）生まれか、「干支」（えと）が何なのか知っておくと、役に立つこともあると思います。

冬休み前の集会でお話ししたことを1つ紹介します。「良好な人間関係」を築くため

にはどうすればいいかというお話を。

先生方から、「〇〇さんは、人の悪口を言ったり、文句が多かったり、冷たい態度をとったりして、人とのトラブルが絶えない。どうしたらいいでしょうか？」と言うお話をよく聞きます。人は社会的動物ですから、人と関わらずに生きていくことはできません。ですから、誰しも人と良好な人間関係を築きたいと思っているはずです。にもかかわらず、ネガティブな発言をしたり、冷たい態度をとってしまったりするのはなぜでしょうか？

それは、「自信のない自分を守りたい」からだと私は思います。他の人から認めてもらはず、不安な状態のため、「自信のない自分を守る」ために、他の人に對して悪口を言ったり、文句を言ったりしてトラブルを起こしてしまうのです。反対に、自分に自信があり、他の人から認めてもらったり、励まされたりしている人は、気持ちが安定しているため、他の人に對して優しくできるのです。

私は、日々、「できないことができるようになったり、わからないことがわかるようになったりすること」を通して、「自分の良さや可能性」を見つけましょうとお話ししています。どんな人にも、「自分の良さや可能性」があるはずです。「できないことができるようになったり、わからないことがわかるようになったりすること」を通して、まず、自分に自信を持ってください。自信のある人は他の人のことも認めることができるはずです。

しかし、そもそも自分に自信がないという人もいるかもしれません。そういう人は他の人の「良さや可能性」をその人に教えてあげてください。そうすると次は自分が認めてもらえるかもしれません。「自分を認め、他の人を認めることによって、他の人から自分を認めてもらう。そしてまた、自分を認める。」このような好循環があれば、とても良好な人間関係を築くことができるはずです。

特に、普段から人に冷たくしてしまって、トラブルが絶ないと感じている人は、「自分を認め、他の人を認めることによって、他の人から自分を認めてもらう。そしてまた、自分を認める。」を実行してください。

それを実行できる人が多くなれば、人にやさしい素敵な集団になり、みんながハッピーになるはずです。一人一人の心がけ次第ですぐ変わります。さあ、すぐに実行してみましょう。